



大雨の際、道路が冠水した町道石峠線



豊間根信議員

基盤整備

排水路・側溝などの整備

維持補修の範囲で対処

質問 下水道整備区域外では、合併処理浄化槽を設置する循環型社会形成推進事業を推進するとあるが、どのような事業を計画しているのか。また、排水路・側溝などの整備計画は。

沼崎町長 合併処理浄化槽の設置補助は、国の推進交付金事業によるもので、個人および市町村設置型がある。本町では、個人設置型を実施し、年10基の整備計

画である。排水路・側溝などの整備については、維持補修の範囲で対処していく。

質問 豊間根地区の排水は、ほとんど地下浸透であり非常に不衛生である。今まで地下浸透は許可にならなかったが、今はどうか。仮に浄化槽からの水も排水路に流せるとすれば、年10基ずつ増えてきているので、排水路の整備が必要になるのでは。

議員12人が一般質問

質問 昨今、異常と思われるほど集中豪雨が発生している。仮に当地域で集中豪雨が発生した場合、豊間根地域は今まで以上の河川の氾濫が予想され、床下・床上の浸水をはじめ、家屋の水没、土砂崩れ、道路の決壊など大規模な被害が懸念される。今後、想定外といわれる災害が予想されることにに対し、地域の防災計画及び治水対策の計画はどのようなになっているか。

沼崎町長 本年8月に、水防法に基づき津軽石川水系

施設整備

豊間根地域の防災対策 洪水ハザードマップなど作成

柏谷地域整備課長 今は基準を満たせば、排水の地下浸透も許可になっている。

基幹的排水路は必要であると考え、維持・補修で対応していきたい。

質問 基幹的排水路を通せないものか。

柏谷地域整備課長 今後の課題として検討したい。町としては、放つて置けないという意識は持っている。

の浸水想定区域が県から示された内容は、100年に1回程度起こる大雨を想定しているものである。町では、円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、地域防災計画の中で位置付け、洪水ハザードマップの作成をはじめ、豊間根地域の防災対策へ取り組んでいく。

質問 県管理の豊間根八千代地区堤防崩壊補修をお願いしたが、その結果は。

柏谷地域整備課長 県から補修工事に着工するとの連絡があった。